

ユアサ商事の販売店組織「やまずみ会」主催、売上総額600億円見込む総合展示会 →レポート→「産業とくらしの関東グランドフェア2018」開催

会場の様子



ユアサ商事(東京都千代田区)の販売店で構成する「やまずみ会」が主催、仕入先メーカー組織「炭協」が協賛、同社が後援の展示会「産業とくらしの関東グランドフェア2018」が7月6日(7日)の二日間、千葉市の幕張メッセで開催された。主催者231社、出展メーカー512社が、工業、住環境、建設の分野で、新製品や機能を一堂に紹介した。2日間の来場者は約2万4千人、売上は600億円を見込む。

田区)の販売店で構成する「やまずみ会」が主催、仕入先メーカー組織「炭協」が協賛、同社が後援の展示会「産業とくらしの関東グランドフェア2018」が7月6日(7日)の二日間、千葉市の幕張メッセで開催された。主催者231社、出展メーカー512社が、工業、住環境、建設の分野で、新製品や機能を一堂に紹介した。2日間の来場者は約2万4千人、売上は600億円を見込む。

田区)の販売店で構成する「やまずみ会」が主催、仕入先メーカー組織「炭協」が協賛、同社が後援の展示会「産業とくらしの関東グランドフェア2018」が7月6日(7日)の二日間、千葉市の幕張メッセで開催された。主催者231社、出展メーカー512社が、工業、住環境、建設の分野で、新製品や機能を一堂に紹介した。2日間の来場者は約2万4千人、売上は600億円を見込む。

田区)の販売店で構成する「やまずみ会」が主催、仕入先メーカー組織「炭協」が協賛、同社が後援の展示会「産業とくらしの関東グランドフェア2018」が7月6日(7日)の二日間、千葉市の幕張メッセで開催された。主催者231社、出展メーカー512社が、工業、住環境、建設の分野で、新製品や機能を一堂に紹介した。2日間の来場者は約2万4千人、売上は600億円を見込む。

田区)の販売店で構成する「やまずみ会」が主催、仕入先メーカー組織「炭協」が協賛、同社が後援の展示会「産業とくらしの関東グランドフェア2018」が7月6日(7日)の二日間、千葉市の幕張メッセで開催された。主催者231社、出展メーカー512社が、工業、住環境、建設の分野で、新製品や機能を一堂に紹介した。2日間の来場者は約2万4千人、売上は600億円を見込む。

田区)の販売店で構成する「やまずみ会」が主催、仕入先メーカー組織「炭協」が協賛、同社が後援の展示会「産業とくらしの関東グランドフェア2018」が7月6日(7日)の二日間、千葉市の幕張メッセで開催された。主催者231社、出展メーカー512社が、工業、住環境、建設の分野で、新製品や機能を一堂に紹介した。2日間の来場者は約2万4千人、売上は600億円を見込む。

田区)の販売店で構成する「やまずみ会」が主催、仕入先メーカー組織「炭協」が協賛、同社が後援の展示会「産業とくらしの関東グランドフェア2018」が7月6日(7日)の二日間、千葉市の幕張メッセで開催された。主催者231社、出展メーカー512社が、工業、住環境、建設の分野で、新製品や機能を一堂に紹介した。2日間の来場者は約2万4千人、売上は600億円を見込む。

田区)の販売店で構成する「やまずみ会」が主催、仕入先メーカー組織「炭協」が協賛、同社が後援の展示会「産業とくらしの関東グランドフェア2018」が7月6日(7日)の二日間、千葉市の幕張メッセで開催された。主催者231社、出展メーカー512社が、工業、住環境、建設の分野で、新製品や機能を一堂に紹介した。2日間の来場者は約2万4千人、売上は600億円を見込む。

田区)の販売店で構成する「やまずみ会」が主催、仕入先メーカー組織「炭協」が協賛、同社が後援の展示会「産業とくらしの関東グランドフェア2018」が7月6日(7日)の二日間、千葉市の幕張メッセで開催された。主催者231社、出展メーカー512社が、工業、住環境、建設の分野で、新製品や機能を一堂に紹介した。2日間の来場者は約2万4千人、売上は600億円を見込む。

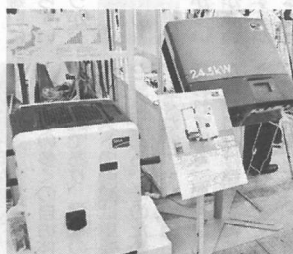
イベント

テーマゾーン

会場中央のテーマゾーンは、「さまざまな現場」を再現した展示が行われた。その一角「農業関係ゾーン」では、工業エコエネルギーがソーラーシェアリングを紹介した。農地一時転用の許可期間が3年から10年に変わるとは、防塵性と低騒音などの特長から、ソーラーシェアリングのシステムで数多く採用されている。日本の低圧連系向けに開発されたSUNNY TRIPower(24・5kw機)と自立的分散型パワコンSUNNY TRIPower CORE1(50kw機)を展示した。

また、実際の農場見学会のスケジュールも案内した。SMAジャパンのパワーコンディショナは、太陽光発電システム向けセキュリティソリューション「WISENET」を紹介した。太陽電池モジュールと遠隔監視カメラを一式で発電事業者に提供し、住設機器や建材の販売会社にも見守り用の屋内カメラを売り込む構えだ。

さらに、太陽光発電システム向けセキュリティソリューション「WISENET」を紹介した。太陽電池モジュールと遠隔監視カメラを一式で発電事業者に提供し、住設機器や建材の販売会社にも見守り用の屋内カメラを売り込む構えだ。



住環境分野

住環境分野の商品を展示しているブースでは、エネルギー自家消費に欠かせない様々な機器が紹介された。東芝エネルギーシステム「Sシリーズ」(360Wh、265Wh)と蓄電池システム「エネゲーン」をメインに展示。「Sシリーズ」は、電極を裏面に配置した「バックコンタクト方式」採用で、22・1割の高い発電効率を実現したフラッグシップモデルだ。自家消費では、発電した電気を蓄電して、上手に使うこ

とがポイントとなる。オムロンは、フレキシブル蓄電システム「KBCシリーズ」を紹介した。6・5kWhタイプと9・8kWhタイプで、コンパクト設計、重塩害対応(6・5kWhタイプ)、急速充電が可能。停電時でも冷蔵庫、テレビなどの家電が長時間使用できることをアピールした。

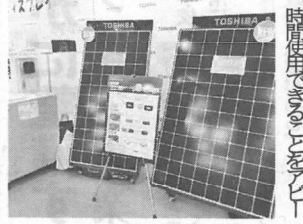
とがポイントとなる。オムロンは、フレキシブル蓄電システム「KBCシリーズ」を紹介した。6・5kWhタイプと9・8kWhタイプで、コンパクト設計、重塩害対応(6・5kWhタイプ)、急速充電が可能。停電時でも冷蔵庫、テレビなどの家電が長時間使用できることをアピールした。

今年テーマは、「Growing Together」とも新しい未来へ。会場中央のテーマゾーンでは、「さまざまな現場」を再現し、最先端の技術とネットワークを結集し、産業とくらしが直面する課題について、将来に向けた提案を7つのゾーンで行った。住環境分野では、太陽光発電のFIT価格低下に



田村博之代表取締役社長

今年テーマは、「Growing Together」とも新しい未来へ。会場中央のテーマゾーンでは、「さまざまな現場」を再現し、最先端の技術とネットワークを結集し、産業とくらしが直面する課題について、将来に向けた提案を7つのゾーンで行った。住環境分野では、太陽光発電のFIT価格低下に



今年テーマは、「Growing Together」とも新しい未来へ。会場中央のテーマゾーンでは、「さまざまな現場」を再現し、最先端の技術とネットワークを結集し、産業とくらしが直面する課題について、将来に向けた提案を7つのゾーンで行った。住環境分野では、太陽光発電のFIT価格低下に